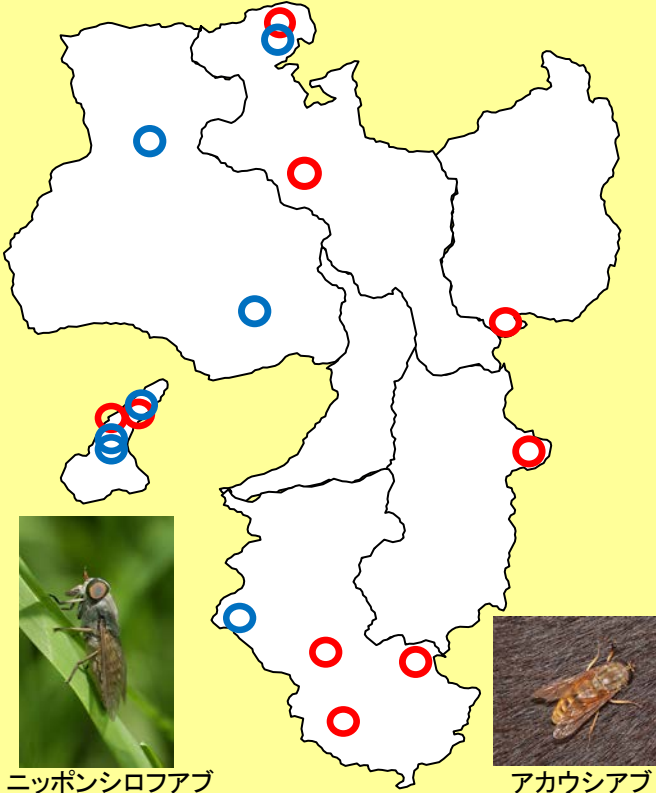


【放牧(新型アブトラップによる実証調査)】(近畿管内)

- 近畿管内の公共牧場や畜舎周辺の放牧地では、吸血性アブの発生によるBLV(牛白血病)の伝播の懸念が放牧拡大の取組停滞の一因。
- 平成29年度から、近畿農政局が管内各府県等と協力し、新型アブトラップ(折りたたみ式アブトラップ)を公共牧場の放牧場等に設置して当該トラップの地域有効性についての実証調査を実施。平成30年度までに管内に新型アブトラップ21基を設置。各設置地区からは、アブの捕獲数及び種類等を府県畜産課を通じて農政局に報告。
- 今後、調査地域での調査結果やトラップ管理者の意見等を基に、近畿地域における放牧拡大策としての普及を検討する。

近畿管内アブトラップ設置地区

● H29から設置 ● H30から設置

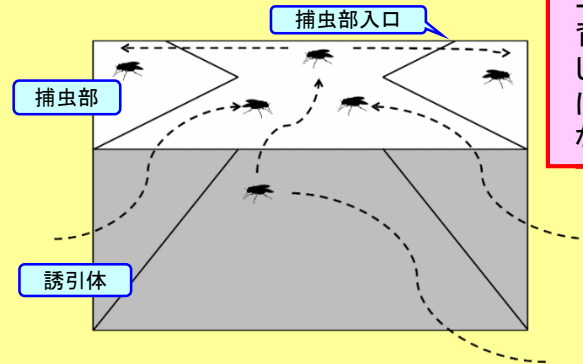


ニッポンシロフアブ



アカウシアブ

新型アブトラップの仕組み



飛来したアブは垂直面よりも斜面にとまることが多く、また上方へ向けて飛び立つ習性を利用。背中から吸血する種類は飛来後に外側斜面に沿って上昇し、捕虫部へ進入。腹側から吸血する種類は誘引体の内側に入り込み、飛び立つ際に上昇し捕虫部へ進入する構造となっている。

H29年度 実績

設置地区	設置数	7月	8月	9月	10月	計	主なアブの種類
滋賀県 甲賀市	1	6				6	
京都府	綾部市	2	15	2	1	18	シロフアブ アカウシアブ
	京丹後市	3	93	73	6	172	シロフアブ アカウシアブ キスジアブ ホルバートアブ
兵庫県 淡路市	2					0	
奈良県 宇陀郡	1		3	1		4	
和歌山県	田辺市	2	4	10		14	
	西牟婁郡	2	2	2		4	



専門家による指導状況